

学校運営協議会 議事録

校名	府立 港 高等学校
校長名	氣賀 聡

開催日時	令和 元 年 10 月 18 日 ( 金 ) 16:00 ~ 17:30
開催場所	大阪府立港高等学校 1階会議室
委員	楠野 宣孝 委員 吉本 博志 委員 加藤 昭弘 委員 村田 哲志 委員
学 校	校長 氣賀 聡 教頭 井本 武彦 事務長 山内 義雄 首席 小畑 龍業 首席 梅津 寛明 指導教諭 倉内 喜則 教諭 芦田 健 教諭 吉田 正勝 教諭 片岡 知子 教諭 毛藤 佳宏 教諭 湯本 真規 教諭 廣江 邦昭 教諭 吉川 夏子 教諭 宮地 耕介 教諭 藤浦 好晃 教諭 山本 汐莉 教諭 村上 実奈
傍聴者	な し
協議資料	「平成31年度 学校経営計画及び学校評価」
備 考	

議題等 ( 次第順 )
-------------

大阪府立港高等学校 令和元年度 第2回学校運営協議会

次 第

1 開 会 (司会 教頭 井本 武彦)

2 校長挨拶 (校長 氣賀 聡)

3 報告

(1) 令和元年度当初の生徒状況等(学年・分掌マネジメントから)

- ① 教務主任
- ② 生徒指導主事
- ③ 進路指導主事
- ④ 生徒自治会顧問
- ⑤ 保健主事
- ⑥ 総務部長
- ⑦ 3学年主任
- ⑧ 2学年主任
- ⑨ 1学年主任
- ⑩ 人権教育推進委員長

(2) 令和2年度使用教科書採択の結果

4 協議

協議内容 平成31(令和元)年度学校経営計画進捗状況について

5 諸連絡

次 回 第3回学校運営協議会

令和2年2月14日(金) 16:00から 予定

6 校長「閉会」の挨拶 (校長 氣賀 聡)

協議内容・承認事項等(意見の概要)

## 1 開 会

## 2 校長挨拶

- ・10月実施の中学校希望調査において、港高校志望者は424名であり、倍率は1.51倍ほどになる予定である。
- ・今年行われた入試では、女子の志願者が70名ほど減少した。
- ・吹奏楽部、水泳部の活躍。
- ・台湾との国際交流活動。
- ・オリジナルマフラータオルの完成。
- ・50分授業や、W-UPの導入といった学校内での変化。

## 3 報告

### (1) 令和元年度当初の生徒状況等（学年・分掌マネジメントから）

#### ① 教務部

- ・50分授業や、W-UPが軌道に乗りつつある。
- ・考査制度の整備を行った。
- ・令和4年度より実施される新学習指導要領用の新カリキュラムの原案が完成した。

#### ② 生徒指導部

- ・遅刻数が昨年より減少した。  
→少なくともないので、さらに指導を行う。
- ・今年度、女子志願者が減少した理由に、生徒指導を厳しくしたことも挙げられる。  
→学校を改善するには避けられない変化の過程である。

#### ③ 進路指導部

- ・第72期の進路状況の中間報告  
→4月段階で、短大を志望する生徒が減り、専門学校を希望する生徒が増えた。  
就職は13人中10人が就職先決定、1人が結果待ち。  
指定校推薦の合格者も決まりつつある。  
センター試験受験者は9人。
- ・奨学金システム「スカラネット」の登録を各家庭が行うよう変更。  
→トラブルは起きず、仕事のスクラップに成功。
- ・進路面談を計画していたが、あまり進んでいない。  
→進路指導部の教員の異動が多く、港高校に合った進路面談をできる人員の不足による。
- ・チャレンジ講習は、教員アンケートを参考に、さらに質を高める。
- ・11月9日に、1・2年生の保護者向け説明会を行う。  
→今年度は案内を郵送したため、参加者が増える可能性がある。
- ・新入試システムについて、生徒向け及び教員向け説明会を行った。

#### ④ 自治会

- 部活動の加入率が低下している。  
→生徒の志向が変わってきているので、新たに有効な方法を考える必要がある。  
クラブ数を増やすことで、加入率を上げることは可能であるが、指導が行えない。
- 体育祭や文化祭などの行事を通して、生徒の質が変わりつつあることが明らかになった。  
→リーダータイプの生徒の減少。  
やりたいことはあるが、動き方がわからない生徒も多いので、教員でサポートする。
- 地域の小学校や、NPO 団体に協力する活動を行った。

#### ⑤ 保健部（立木 里美 教諭の代理：湯本 正規 教諭）

- 健康診断が無事終了した。
- 教育相談委員会との連携を進めている。  
→教育相談を必要とする生徒が増えており、情報共有の必要性が増す。
- 防災訓練が5月に行われた。12月に第2回を行う。
- 清掃用具の補充及び整備を行った。
- 薬物乱用防止講座及び、熱中症対策講座を行った。

#### ⑥ 総務部

- 学校見学会及び説明会で使用する資料のスリム化を進めている。
- PTA との連携を進めている。  
→学年あたり7学級規模になりつつあり、PTA 会計減収に対応した事業内容を検討し、実行する。
- 熱中症対策のため終業式及び開講式を放送で行った。
- 給付型奨学金の種類が増えているため、積極的に情報収集及び共有を行う。
- 学校見学会及び説明会を9月に行った。さらに、11月と2月に実施する。
- 図書館活性化のため、2階エレベーターホールに小黒板を設置し、推薦図書を紹介を行っている。

#### ⑦ 3学年主任

- 遅刻指導を遅刻1回ごとに、なぜ遅刻したのか考えるような指導へ変更  
→1学期は効果的であったが、2学期は慣れから、効果が薄くなっている。あらたな指導を計画中である。
- 身だしなみ指導を継続的に行う。
- 進路指導  
→4年制大学への合格が厳しいため、早めに声かけを行い、志望校の早期決定を促した。

#### ⑧ 2学年主任

- 生徒指導では。生徒の話を聞くことを重視している。
- 1年生からチャレンジ講習を実施したり、さまざまな進路行事を行っている。  
→進路について考える生徒が増えている。  
「行ける」ではなく「行きたい」学校へ行けるようサポートしていく

- 修学旅行が1週間後に迫っている
- 他学年の協力もあり、予定よりも早く準備が進んだ。良い教員間の関係ができています。

⑨ 1 学年主任

- 授業規律の徹底を行っている。
- 真面目に頑張ることのできる生徒が多いが、自ら考え、行動する力は弱い。
- 入学当初の「志」を大事に指導していく。

⑩ 人権教育推進委員長

- 各学年、今までとは異なる講演を活用して、人権教育を行っている。
- 講演のみで終わらないよう、事前・事後学習にも取り組む。
- 小中学校で実施されている道徳科での取り組みを高校でも活かせるよう、各教科と連携を図る。

【意見交換】

- 高校の総合的な学習の時間は何をしているのか。
- 第74期から、先行で「探求」を実施している。
- 「自己と他者」を掲げ、自己実現と他者理解を、それぞれ、進路指導部、人権教育推進委員会と連携して、促している。
- さらに探求を進められるよう、改善していく。
- 生徒指導関連で、親ができる働きかけを考えていきたい。
- 男子生徒の割合が増えたから、大人しい生徒が多くなったのか。
- 勉強に目が向く生徒が増えたからである。

(2) 令和2年度使用教科書採択の結果について

- 学校協議会の会場に令和2年度使用教科書を展示した。

4 協議

- 「令和元年度 学校経営計画」では数値目標に特に重点を置く。
- 1- (1) → 「授業は分かりやすい」を49%から65%へ
- ⇒授業見学週間など、授業改善の取り組みを行っている。
- 1- (2) → 「授業で自分の考えをまとめたり発表する機会がある」を50%から70%へ
- 2- (2) → 合格率を公募推薦入試では13%から35%へ、一般入試では4%から20%へ
- 2- (3) → 「先生は協力して生徒指導にあたっている」を44%から55%へ
- ⇒教員全員で生徒指導にあたる。
- 2- (4) → 「生徒であることに誇りを持っている」を34%から60%へ
- 2- (5) → 保護者の「心身の悩みについて教育相談できるシステムが学校にあることを知っ

ている」を40%から65%以上へ

⇒保護者への周知を進める。

3-(2) →教員の「学校運営に教職員の意見が反映されるような仕組みがある」を37%から60%へ

【意見交換】

- 入学目的はさまざまであるため、「誇りを持っている」生徒を増やすのは難しい。  
→ボランティア活動が世間で主流になりつつある。「自分のためになる」ということをアピールしてはどうか。  
生徒が「頑張れるところ」をつくることが重要である。

5 諸連絡

次 回 第3回学校運営協議会

令和2年2月14日（金） 16:00から 予定

6 校長「閉会」の挨拶 (校長 氣賀 聡)

次回の会議日程

日 時	令和2年2月14日（金）16:00から 予定
会 場	大阪府立港高等学校 校長室